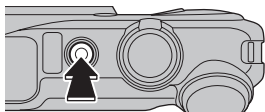


カメラに防水プロテクターを装着する

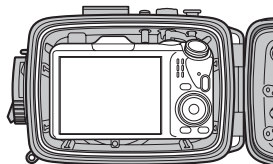
装着前に次のことをご確認ください。

- 水中撮影中にバッテリー切れにならないよう、バッテリーをあらかじめフル充電しておきましょう。
- メディアの撮影可能枚数が十分にあることをご確認ください。
- カメラからストラップを外してください。ストラップをカメラに付けたまま防水プロテクターを装着すると水もれの原因になります。

1 カメラの電源を切ります。



2 防水プロテクターを開けて (→8ページ)、カメラをセットします。



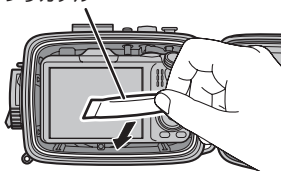
カメラがしっかり止まるまで防水プロテクター内に滑り込ませるようにセットします。

- ❗ 防水プロテクターを開閉するときは、指や手のひらを挟みこまないようにご注意ください。
- ❗ カメラをセットするときは、カメラの向きに注意してセットしてください。

カメラに防水プロテクターを装着する

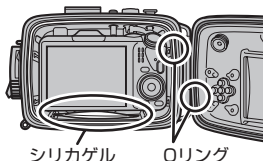
3 シリカゲルを、カメラ底面と防水プロテクターの間に入れます。

シリカゲル



- ❗ シリカゲルは必ず奥まで入れてください。奥まで入れずに防水プロテクターを閉めるとシリカゲルがOリング部に挟まり、水もれの原因になります。

4 カメラと防水プロテクターが正しくセットされているか確認します。



- ・ シリカゲルが本体からはみ出していないか
- ・ OリングやOリング溝、Oリングに合わる防水プロテクター本体側部にゴミや髪の毛などの異物が付いていないか
- ・ カメラが防水プロテクターに対して曲がってセットされていないか

5 問題がなければ、防水プロテクターを閉めます (→10ページ)。

→ ON/OFF (電源) ボタンが作動するか確認してください。

- ❗ 防水プロテクターを閉めるときは、指や手のひらを挟みこまないようにご注意ください。

水もれ事故を防ぐために

Oリングに異物が付着している場合は浸水の原因になります。22ページを参照して異物を取り除いてください。異物を取り除けないときは新しいOリングと交換してください。



毛



繊維



砂